

会長 坂本 肇  
幹事 高野 太

例会日 / 毎週月曜日 12:30~

例会場 / トキハ会館 4F

TEL 097-532-0611

FAX 097-532-8386

会長スローガン

「一致団結」

Email : oita1985rc@mist.ocn.ne.jp

ホームページ : www.oita1985rc.jp



2017-18年度  
国際ロータリーのテーマ

「ロータリー：  
変化をもたらす」

R I 会長  
RI第2720地区ガバナー  
大分第4グループガバナー補佐

イアンH.S.ライズリー  
永田 壮一  
古手川 哲

■ 本日のプログラム (8月6日) 花火大会例会

12:30	点 鐘		
	会 食		
	ロータリーソング	「四つのテスト」	
	ゲスト・ビジターの紹介	会 長 坂本 肇	
	会長の時間	会 長 坂本 肇	
	出席報告	出席担当 藤本 保	
	幹事報告	幹 事 高野 太	
	委員会報告	「関係委員会」	
	ニコニコタイム	穂田 英一郎	
13:00	新入会員の卓話	大木 孝吉 会員	

\* 今週のお祝い

在籍記念日	坂本 肇 会員 (7月2日 : 5年)
	穂田英一郎 会員 (7月2日 : 5年)
	河野 聡 会員 (7月7日 : 3年)
結婚記念日	橋本亜紀子 会員 (8月4日)
	河野 聡 会員 (8月5日)

■ 第4回例会の記録 (7月31日)

ガバナー公式訪問例会

・出席報告 (7月31日)

会 員 総 数	18 名
7 月 31 日	
出 席 免 除	2 名
出 席 会 員 数	12 名
出 席 率	70.00 %
ゲ ス ト	5 名
ビ ジ タ ー	0 名
7 月 10 日	
修 正 出 席 率	76.00 %

ロータリーソング

【四つのテスト】

真実かどうか みんなに公平か  
好意と友情を深めるか  
みんなのためになるかどうか

会長の時間 (7月24日) 会長 坂本 肇

(6月号 ロータリーの友より)

ロータリー アットワーク

「子ども観光大使 IN 近江八幡」を支援(近江八幡RC)

近江八幡RCでは今年度、近江八幡市内の子どもたちを対象に「子ども観光大使 IN 近江八幡」支援プロジェクトを、T.O.S.S滋賀メンバーとともにに行ってきました。教師による研究団体・T.O.S.S (Teachers' Organization of Skill Sharing) が勧める「子ども観光大使」とは、「自分の地域の良さを体験し、良さを伝える発信をし、より良い地域づくりをしていこうとする子ども」のことです。今回の事業は、小学3年生以上の児童に2回の体験イベントに参加してもらった上で、「近江八幡子ども観光大使」に認定する、というものです。

当クラブではこの事業を通じて、子供たちにプレゼンテーション能力を学んでもらうための支援を行いました。体験イベントの第1回は2016年8月28日、滋賀県立安土城考古博物館で「安土城考古博物館でふるさとの歴史を発見し、体験し、発信しよう!!」のテーマで実施。子供たちは火おこし体験や博物館の見学を基に、タブレット型端末を用いて観光ポスターを作製しました。第2回は11月5日、市立かわらミュージアムで「八幡瓦を通して、近江八幡の良さを知り、体験し、発信しよう!!」を行い、瓦造りの体験などを基に、こちらもタブレット型端末で観光スライドを作製しました。

そして迎えた今年2月26日の認定式では、過去2回の体験を基に、クラブが寄贈したパソコン、プロジェクターを用いてプレゼンテーションを行い、30人の子どもたちが「近江八幡子ども観光大使」に認定されました。将来、近江八幡の歴史と文化を踏まえたまちづくりを担う子供たちが育ってくれることを、クラブでは期待しています。

以上、掲載記事からですがロータリーは未知数の可能性を持っているのだと感じました。

何気ない身近な地域の活動、子供たちの活動に目をやり、既存の活動の中に私たちロータリアンがそれぞれの職業を通して更に幅広い活動と未来に希望をもたらすことができるのもロータリアン冥利であると感じました。

これからは、もっと積極的に地域に入っていくことも考えたいと思いました。

ロータリーは一体どこへ向かおうとしているの？

- \* 時代背景や人種、性差、宗教などを幅広く考える。
- \* 職業奉仕はロータリーの金看板
- \* 若い世代を育成し、次世代のリーダーを育成してきた。
- \* 世界に地域社会にロータリーを知ってもらいたい。  
「物事に対する考え方の多様性が必要」  
「職業に対する高潔性は常に保つべき」  
「若い世代にRotaryの素晴らしさを伝えたい」  
「多くの人たちにRotaryを知って欲しい」



### ロータリー戦略計画

- \* RIは長期計画委員会 (2002~2003) を発足させた。
- \* DLPの導入を (2002~2003) 地区の義務とした。
- \* CLPの導入をクラブへ推奨した。(2004~)
- \* 2007年RI理事会は「国際ロータリーの使命」「国際ロータリーのビジョン」「標語」「中核となる価値観」並びに具体的な実践目標「7つの優先項目」を承認。

#### 国際ロータリーの使命 (The Mission of Rotary International)

RCの世界的連合体であるRIの使命は、他者に奉仕し、高い倫理基準を促進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を促進することである。

国際ロータリーのビジョン：国際ロータリーのビジョンは、世界理解、親善、平和を推進するための「超我の奉仕」に対するその献身があまりに認知されることである。

標語：超我の奉仕 (Service above Self)

中核となる価値観：「中核となる価値観」は従来と変わりません。ロータリー100年の歴史に培われたロータリーの「中核となる価値観」は非常に重要なものです。長期計画委員会が提案し、RI理事会が承認した「中核となる価値観」は、ロータリーにおいて、それぞれのロータリアンが、何を優先させ、どのような行動をするかという基本的指針に基づいたロータリー活動の指導原理を表すものです。「親睦」「奉仕」

「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」

7つの優先項目：

- ①「ポリオを撲滅する」
- ②「ロータリーに対する内外の認識と公共イメージを高める」
- ③「他者に奉仕するロータリーの力の増大を図る」
- ④「量的にも質的にも会員組織を世界的に拡大する」
- ⑤「ロータリー独自の職業奉仕への取り組みを強調する」
- ⑥「ロータリー組織内の指導的才能を最大限に活用し、育成する」
- ⑦「組織全体を通じて継続性と一貫性を保つために、長期計画の手順を完全に実施する」

### RI戦略計画が少しずつはっきりしてきた。



RI戦略計画も2010年のRI理事会で決定されました。これは、国際ロータリーとロータリー財団がともに同じ方向を向いて行こうというRIの決意です。

「私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務及び地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する。実践するための3つの「優先項目」

中核的価値観：ロータリアンが、ロータリーの中において、何を優先させ、どのような行動をとるのか、という指針。全てのロータリアンが認識して実践しなければならないこと。

「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」

〈次号に続く〉

### 【永田壮一ガバナー公式訪問】2017.7.31



バナー贈呈



永田壮一ガバナー

### ゲスト・ビジターの紹介

- ゲスト：永田 壮一様 (RI2720地区ガバナー)  
古手川 哲様 (大分第4Gガバナー補佐)、後藤 博様 (地区副幹事)
- ビジター：井上 雅文様、林田 公治様 (熊本南RC)

### 〈例会予定〉

- 8月28日 (月) 吉良会員の卓話 (コンパルホール)
- 9月 4日 (月) 柴山会員の卓話

### ニコボックス

- ★全会員 (各1口)
- 永田壮一ガバナー公式訪問を記念して全会員より1口お願いいたします。